令和7年度 入学者教育課程表

Α	表			(表面)		第1学年の 1
教育			北海道阿寒高等学校	全日制課程 学科	普通科	学級数 1
		学年	1 年	2 年	3 年	
教科	科目·標準単位数	類型	·			· 計
玉	現代の国語	2	2			2
	言語文化	2	2			2
	論理国語文学国語	4		2 2	2 2	$\frac{4}{4}$
	国 語 表 現	4		۷	۷	4
語	古 典 探 究	4				
拙	地理総合	2	3			3
理	地 理 探 究 歴 史 総 合	3 2		2		2
地理歴史	日本史探究	3				2
文	世界史探究	3				
公	公共	2	2			2
民	倫理政 治 ・ 経 済	2			3	3
数	数学I	3	4		J	4
双	数 学 Ⅱ	4		2	3	5
	数 学 Ⅲ 数 学 Ⅲ 数 学 A	3		0		0.0
	数 学 A 数 学 B	2		2—	2—	0~2 0~2
学	数	2				0 - 2
理	科学と人間生活	2				
	物 理 基 礎	2				
	物 理 化 学 基 礎	2		2		2
	化 学 学	4		2		<u> </u>
	生物基礎	2	2			2
	生物	4		0	4	4
科	地 学 基 礎 地 学	2 4		2		2
	体育	7~8	2	2	3	7
保健 体育	保健	2	1	1		2
	○生涯スポーツ	2	0		2—	0~2
	音 楽 I 音 楽 II	2	2	2		2 2
芸	音 楽 III	2		2	2	2
A	美 術 I	2				
	美術Ⅱ	2				
	美 術 Ⅲ 工 芸 I	2				
	工 芸 II	2				
術	工 芸 III	2				
נוע	書 道 I 書 道 II	2		- 2		
	書 道 Ⅱ 書 道 Ⅲ	2				
	英語コミュニケーション I	3	3			3
外	英語コミュニケーションⅡ	4		2	2	4
国	英語コミュニケーション Ⅲ 論 理 ・ 表 現 I	4		0		2
雪井	論理・表現 I論理・表現 II	2		2	2 - 2	$\frac{2}{0\sim 2}$
語	論 理・表 現 Ⅲ	2				
家	家庭基礎	2				
庭	家庭総合	4	2	2		4
情	情 報 I 情 報 II	2	2		- 2	2
報	○コンピュータリテラシー	2			2—	0~2
理	理数探究基礎	1				
数	理 数 探 究	2~5			- 2	

(裏面)

全日制課程

学科

普通科

北海道阿寒高等学校

1 年 年 教科 計 科目·標準単位数 0~4 商業 情 処 理 2~4 2-0~2 ソフトウェア活用 2~4 2 -0~2 究 2~4 0~2 課 題 研 2 — 費 生 活 2~4 0~2 消 家庭 保 育 基 礎 2~6 0~2 ボ イン ドデ 2~8 2 -**0**∼2 研 究 2~6 0~4 音楽 演 各学科に共通する各教科・科目の計 71~79 27 $23 \sim 25$ 21~27 主として専門学科において開設される各教科・科目の計 0 2~4 0~6 2~10 学校設定教科に関する科目の計 0 0 0 0 総合的な探究の時間 3~6 1 1 1 3 計 28 28 28 84 特別 ホームルーム活動 3 1 1 1 活動 教 育 課 程に 係 そ 0) 他の 事 項 る 卒業に必要な履修○1分離している 業までに修 74 単位 数 せ 単 位 と修得の単位数 2 分離していない 学期の区分ごとの 単位修得の認定 ○ 1 実施している 3学期制 1 分 学 期 0) 区 2 実施していない 標準の50分を1単位時間として実施する。 2 標準以外の単位時間を学校が設定して実施する。)時間で実施] [1日の授業時間を()分×(3 1 単位時間の弾力化 その他 4 実施している 学校外における学修の単位認定 実施していない 週時程に位置付けて実施する。 1 総合的な探究の時間の実施方法 週時程に位置付けず、年間を通して又は特定の期間に実施する。 2年次「簿記」を選択する場合は、3年次「簿記」を選択する。 2年次「演奏研究」を選択する場合は、3年次「演奏研究」を選択する。 3年次「ソフトウェア活用」を選択する場合は、2年次に「情報処理」を選択している場合に限る。 備 考

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番縦型とする。